

被災農業者向け経営体育成支援事業 (平成25年11月以降の大雪)

【26年度及び25年度補正予算との合計5, 229百万円の内数】

対策のポイント

平成25年11月以降の大雪による農業被害により被災した農業者に対し、農産物の生産に必要な施設の復旧及び施設の撤去等を緊急的に支援します。

政策目標

被災農業者の農業経営の維持

<主な内容>

今冬の大雪による農業被害を受けた農業者が農業経営を維持していくために必要な農産物の生産施設の復旧等の経費を支援します。

1 助成対象者

今冬の大雪による農業被害により農業用施設等が被災した者（市町村から被災証明を受けていること）であって、地方公共団体による支援や融資を受けて、被災施設の復旧等、又は倒壊したハウス等の撤去を行うことにより農業経営を継続しようとする農業者。

2 支援対象

以下に掲げる取組を対象とする。

- (1) 農産物の生産に必要な施設の復旧又は気象災害による農業被害前の当該施設と同程度の施設の取得。
- (2) 農産物の生産に必要な施設を修繕するために必要な資材の購入
- (3) (1) と一体的に復旧し、又は取得する附帯施設の整備
- (4) 倒壊した農産物の生産に必要な施設の撤去

3 事業実施主体

市町村

4 補助率

<2の(1)～(3)>

再建・修繕に係る補助率を3/10から1/2に引き上げる。

残りの部分に対する地方公共団体の補助に関し、その7割について特別交付税措置を講ずる。

これらにより、農業者の負担を最小化できる仕組みを構築する。

(地方公共団体の補助が4/10となった場合には、農業者の負担は1/10となる。)

<2の(4)>

農業者負担のないよう定額助成（地方負担を含めて10/10相当）とする。

地方公共団体が1/2相当を負担することを前提に、国が1/2相当を補助。

地方公共団体には特別交付税措置（地方公共団体の負担分の8割）を講ずる。

定額助成の単価は以下のとおりとする（①～③については、撤去を行うために実際に支出した費用と比較した上で、いずれか低い額を支払額とする。）。)

① 被覆材がガラスのハウス 1,200円/m²

② 被覆材がプラスチックで骨材が鉄骨のハウス 880円/m²

③ 被覆材がプラスチックで骨材が鉄骨でないハウス（自力撤去以外）

290円/m²

④ ③と同じハウス（自力撤去）

110円/m²

[お問い合わせ先：経営局就農・女性課 (03-6744-2148)]